

第12回役員会議事要旨

日 時	場 所	欠 席 者	陪 席 者
平成18年9月21日(木)13時30分～	学長室	教育担当理事(欠員)	常勤監事 非常勤監事

1. 議 題

(1) 平成19年度以降の非常勤講師手当の配分についての考え方について

学長から、議題資料1及び参考資料に基づき、標記のことについて、平成18年9月20日付けで非常勤講師に関するワーキンググループから答申があった旨説明があった。

次いで、学長から、前述の答申を受けて、本学としては、平成16年8月23日付け非常勤講師に関するWGの答申「非常勤講師の任用に当たっての考え方」の基本原則に則り、一部の学部等の特殊要因を考慮しつつも、平成19年度以降の非常勤講師手当は漸減的に配分し、平成22年度には一切配分しないこととしたい旨説明があった。また、学部等欠員人件費の一部運用については、役員会で検討する旨併せて説明があった。

審議の結果、非常勤講師手当の配分については答申に基づき行うことを了承した。

2. 報告事項

(1) 学校教育法改正に伴う助教等の在り方検討ワーキンググループの答申について

学長から、報告資料1に基づき、標記ワーキンググループから、平成18年9月14日付けで答申があり、本学としては、この答申をもって本学の基本方針とする旨報告があった。

なお、学長から、本件に関連し、今後の課題として以下のことについて発言があった。

部局における助教の審査及び担当する授業科目の問題
学内関係規則等の改正
教育研究支援体制及び組織の問題

(2) 平成17年度に係る業務の実績に関する評価結果(原案)について

学長から、国立大学法人評価委員会から標記原案が送付され、9月19日を期限として、事実誤認等、特段の意見がないか照会があり、同委員会に対する意見申し立ては行わなかった旨報告があった。

次いで、連携・評価担当理事から、報告資料2に基づき、標記原案について、平成16年度の評価結果と比較すると格段に良い評価が得られた旨報告があった。

また、同理事から、中期計画のうち以下の事項については、同委員会も注目していることを留意してほしい旨発言があり、平成16年度と平成17年度の評価の傾向を基に、中期計画のどの部分を前倒しして取り組んでいくのか分析したい旨発言があった。

目標管理制度及び能力評価制度における評価結果の処遇反映システムについて
研究に係る附属病院の利益相反体制について
幸町キャンパス施設の一元管理及び有効活用について

最後に、学長から、既に役員及び部局に要請したとおり、平成19年度末迄の実績が最も重要となるので積極的に取り組んでほしい旨発言があった。

(3) 平成19年度施設整備費概算要求について

総務・財務担当理事から、報告資料3に基づき、平成19年度国立大学法人概算要求の構成及び要求額の概要について報告があった。

次いで、同理事から、標記施設整備費概算要求について、文部科学省の評価結果について報告があった。

(4) 香川大学危機管理基本マニュアルの策定について

総務・財務担当理事から、危機管理マニュアル策定ワーキンググループを設置し、検討を進めてきた標記について、香川大学危機管理基本マニュアル(案)、国立大学法人香川大学防災管理規程(案)、地震、風水害(台風)、不審者、火災の対応マニュアル(案)を、報告資料4-1、4-2及び4-3のとおり取りまとめた旨報告があった。

次いで、同理事から、今後の手続きとして全学にかかわることから、全ての部局等の意見を聴取し、その結果を10月6日開催予定の部局長等会議に報告し、10月12日開催予定の役員会に最終案を報告したい旨併せて報告があった。

3. その他

(1) 役員と部局長等との懇談会等実施について

学長から、資料に基づき、大学運営の円滑化を図るため、自由で忌憚のない意見交換を行う標記懇談会を実施したいこと、並びに、現在幸町地区で開催している部局長等会議を、意見交換及び部局見学を兼ねて、医学部地区、工学部地区及び農学部地区において開催することについて提案があった。

なお、実施時期については、10月6日開催の部局長等会議で了承が得られれば、11月から実施したい旨発言があった。

(2) 事務系幹部職員の人事異動について

総務・財務担当理事から、平成18年10月1日付け事務系幹部職員の人事異動について報告があり、当該職員から挨拶があった。

閉会15時40分